



有能な企業OBの活用と中小企業の 経営支援の仕組みづくり

企業との協働
企業支援



NPO
法人

ぎょうだスキルバンク
(行田市)

企業

行田商工会議所
(行田市)

地元の企業OBが中小企業を支援できるようにマッチングする仕組みを、NPO法人と商工会議所が協働して、実施。

企業OBが中小企業の経営改善や体質強化を支援し、地域活性化につながっている。
また、商工会議所主催の地元イベントでは、NPO法人が積極的に参加するなど、協働の幅を広げている。

協働のきっかけ

企業OBが豊富な経験や知識を生かす機会は少ない。一方、地域の中小企業は「優秀な人材」を求めている。

そこで、商工会議所が、経済産業省の「OB人材マッチングモデル事業」として企業OB層を中小企業の悩み事解決人材として集め「ビジネスキャリアネット」を立ち上げた。

2004年には、ビジネスキャリアネットがNPO法人として独立。企業OBの掘り起こしや営業活動、企業とのマッチングを行っている。



企業OB活用

協働のメリット

NPO
法人

商工会議所主催のセミナーで、NPO法人の活動をPRしてくれる。

また、商工会議所との協働なので、会員の募集や企業に会員を紹介する際に、信用を得られやすい。

企業

NPO法人の人材を紹介するので、民間の企業のコンサルタントを派遣するよりも費用が抑えられる。

また、商工会議所が主催する工場見学や勉強会、懇親イベントの広報にNPO法人が協力したり、NPO法人内の「地域活動委員会」が中心となって、商工会議所のイベントを盛り上げてくれている。

さらに、NPO法人の会員には医師や都内の企業に勤めていた人がおり、彼らの持つネットワークも有益である。

苦労・工夫したこと

NPO
法人

会員数は50名以上おり、常に10名以上が経営支援などの業務に関わっている。

報酬は多くなく、ボランティアの要素が強い活動なので、中心メンバーは年金を受け取っている世代である。そのため、年々高齢化しており、世代交代が今後の課題。

企業

商工会議所内に「スキルバンク支援委員会」を設け、企業OBを活用したい中小企業の発掘にも取り組んでいる。

しかしNPO法人が得意とする経営改善のコンサルよりも、即効力のある売上拡大のアドバイスを望む企業が多く、マッチングが課題。